



がどうだより

吟道賀堂流総本部 会報
第3号 令和4年5月1日
発行 吟道賀堂流総本部
会長 磯部賀堂

賀堂流第59回流碑祭

春分の日の3月21日朝8時から姫路護国神社境内で、当番会である上郡・篠の丸吟詠会の協力で流碑祭の清掃・準備が滞りなくなされた。定刻11時、今年もコロナ禍により参列者を制限した式典が始まった。吉永事務局長の賀堂流会詩を奉納し、神事が開始される。肥塚副会長の先導で遺族代表の森田・高島様が功労物故者7名の銘板を安置堂に奉安。引き続き神事の後、本庄副会長による閉式の辞で終了。中国本部はオンラインによりリモート参加された。



本年度奉安功労物故者名

近畿本部:森田 賀 尊(太子)、高島 賀晃尊(太子)、小寺 賀 藤(上郡)、細田 賀紫寛(白陽)

京都本部:円藤 賀真寿(長岡京)、山本 賀秀雲(長岡京)、小椋 賀秀燦(長岡京) (流碑管理委員会 清水賀柁律)

今年も代表者による役員総会/参議会

3月21日(祝)、代表者による役員総会で令和4年度の事業計画・予算及び総本部関連規定改正を、また総会終了後開催された参議会で宗家関連規定改訂が承認された。中国本部はリモート出席でした。



主な規定改訂として

・総本部に宗家室を設け、賀堂流規定・内規で定める参議会・宗家資格認定会・常任編集委員会を置く (総本部会則改正)

・各本部の地方資格認定会の受審年数条件を大幅に短縮(右表参照)、実力・貢献度審査に重きを置く (宗家関連規定改訂) *年数は、前の資格取得後

(事務局/総務局)

資格	従来*年数	改訂*年数
六段/師範	3年	2年
修士	5年	3年
上師範	7年	3年
大師範	5年	3年
総師範	10年	5年

吟道賀堂流の歴史(3)

昭和9年創流以来、流祖磯部賀堂は姫路・神戸を中心に遠くは広島・関東まで各種講習会に東奔西走。大阪では皇国錦城詩吟会で約60回講習、後に福島賀城師が吟道賀城流(横山寿城会長)、そこから岡崎泰城師が磯部流(二代目宗家許可)吟道清明会(巽吟城会長)を立ち上げている。またキング・テイクレコードの他、神戸の豊田幾太郎氏(豊田流日本明倫会宗家の祖父)と連携し文部省推薦の10枚組忠孝レコードを吹込んだ。

ラジオ放送も大阪中央放送局を主に70回を超え(ラジオ講習では田村賀峰師・二代目宗家も門下出吟)、その縁で昭和15年に皇軍慰問の依頼を受けて満州へ、同じ班の歌手滝田菊江とはコンビで「露営の歌」(本宮三香作)を連謡、歌謡吟詠の始めとされる。昭和17年には大阪市皇軍慰問団の北支班長として参加し2月26日下関出港、残念ながら3月17日の慰問吟詠を最後に3月20日山西省喉馬鎮兵舎で急逝、戦病死と認定されて靖国神社に合祀。



7月に追悼全国詩吟剣舞大会を姫路公会堂で開催、東京の木村岳風師、九州の深田光霊師等が全国各地より参列、父利夫が二代崇吟社賀堂を嗣ぐこと決定した。(磯部賀堂)

吟と健康 オーラル(お口)フレイルを予防しましょう!(3)

皆さん、笑っておられますか? ちょっと眉間のしわを揉みほぐし、唇を左右に広げてみてください(*^▽^*)
そうすることで気分もホッと和らぎ『笑いは副作用のない薬』と言われるようにストレスを軽減し、免疫機能を高めます! 日々、詩吟の練習で、オーラル(お口)を、また腹筋を鍛え、脳も活性化させた後、
「おつかれさま」と自分に笑顔のご褒美を!!

(村山賀聖蓉)



総本部役員紹介(2)

副理事長 野町 賀少  近畿本部相談役 白陽吟詠会相談役	副理事長 太田 賀筵  近畿本部副会長・理事長 太子吟詠会会長 兵庫県連・総連理事	副理事長 片岡賀弘蒼  近畿本部企画室長 兵庫県連・総連理事	副理事長 大歳賀妝暎  中国本部理事長 広島県連 参与 竹原吟詠会会長	副理事長 西田賀公亮  京都本部副会長 京都府連全但地区 連絡協議会議長
事務局長 吉永 賀鈴  近畿本部副会長 白陽吟詠会会長 兵庫県連・総連理事	事務局長次 桑名賀紫淳  近畿本部研修部 兵庫県連・総連理事	事務局 村山賀聖蓉  近畿本事務局長 兵庫県連・総連理事	事務局 宅重賀清輝  中国本部事務局長 県連広島支部 幹事 賀久吟詠会副会長	事務局 長尾賀秀剣  京都本部事務局長 京都府連・総連 編集部員

近畿本部

第12回愛連フェスティバル近畿から3名出場！！

令和4年3月6日 あましんアルカイクホールにおいて第12回愛連吟詠フェスティバルが開催され、昨年の燦燦ジュニアの部優秀者吟詠として*横山百音さんは振袖を着て堂々と吟詠、兵庫県連選抜吟詠として木山賀瑩さんは「楠公を詠ず」、構成番組「歳時記詩聚吟」に歴代二部吟士権者として平山賀宝弓さんが独吟と連吟を、また構成吟後半のナレーションも素晴らしかった。



*横山百音さんは、4月17日開催の兵庫県燦燦ジュニアの大会で見事優勝されました。

ポストコロナ兵庫県吟詠フェスティバル 企画構成番組『頼山陽の生涯』

昨年の「ふれあいの祭典」での男女ペア優勝 賀堂流 男子・女子合吟チーム共に出演！！

令和4年9月4日(日) 14時開演
兵庫県立芸術文化センター(西宮市)

出演者 兵庫県連二部(指導者の部) 歴代優勝者、県連幹部、
昨年合吟優秀チーム4組

★チケット ¥2,000円(予定)

お申し込みは近畿本部事務局まで ☎・fax 079-227-7716

(近畿本部事務局)

中国本部

けんみん文化祭ひろしま'21 吟詠剣詩舞の祭典

新型コロナで延期となったけんみん文化祭「ひろしま'21吟詠剣詩舞の祭典」が令和3年11月20日 呉信用金庫ホールにて開催され七団体が参加し、喜びと感動を分け合う秋の広島を盛り上げる県民の祭りに出場することができました。



文化活動の発表は日頃の練習の成果を文化の場として活動でき、夢や希望へ挑戦することで、その一つの魅力ある「祭り」と思います。各団体の吟詠会もさることながら、思考をこらした発表に、参加団体の一会として刺激を受けることも多く、今後の活動に励みになり、より一層精進も詩吟を一生の友として心豊かに楽しく過ごすことを会員と決心した一日でした。



最優秀に選出された団体は令和4年沖縄県で開催される国民文化祭に広島県を代表して推薦される予定です。

出演団体相互の友好を深め交流の輪を拡げることの出来た32回目の文化祭でした。

(安芸吟詠会会長 石澤賀笙翠)

新春祈願祭(姫路護国神社)

令和4年1月3日 午前9時より、吟道賀堂流の発展と会員の身体健康を祈願して、宮司様にご祈願していただきました。参加者全員で宝舟を合吟する。



参加者人数 32名

(流碑管理委員会 田中賀月峰)

京都本部

組織若返りのための組織改革に取り組む

会員の高齢化が進む中、会を存続させるためには会運営の若返りを図る必要があります。長岡京吟詠会では今後3~5年を目途に、次世代の方々に会運営を引き継ぐための組織改革に今年度から取り組んでいます。

従来、種々事業の決定は会長ほか数名で構成する「執行部」で行ない、「師範会(教室の指導者の会)」で会員への周知を図ってきました。しかしこの状態では師範会に属さない若手の会員が会の運営に関わる機会がないため、今年度からは執行部とは別に若手を中心とした「運営会」を設け、執行部と一緒に種々事業の決定が行えるようにしました。

また、師範会に代わり「連絡会」を設けました。連絡会は各教室の代表者(指導者でなくても良い)と事務局等の業務別主担当者で構成することで会の運営がより会員に直結し易くなり、会全体の活性化を図る一助になればと期待しています。

さらに「役員総会」を「会員総会」に変更し、より多くの会員の意見が反映できる仕組みにしました。役員総会時には出席する資格として理事を設けたり、常任理事会もありましたが、全てを無くし、総会にはすべての会員が参加できる身軽な組織にしました。

まだまだスタートしたばかりで戸惑いながら進めていますが、硬い決意を持って進めています。3年後が楽しみになってきました。(長岡京吟詠会副会長 高橋賀秀正)

30回記念吟士権者決定大会

日時:令和4年9月11日(日)9時30分~
場所:アクリエひめじ 中ホール

参加案内中 奮ってご参加を！！



賀堂流ホームページ:<https://gadou.info>
←スマホで賀堂流ホームページへ

担当 吉永賀鈴、片岡賀弘蒼、村山賀聖蓉
連絡先 吉永賀鈴 TEL:079-298-5107
E-mail: garei_yoshi@yahoo.co.jp